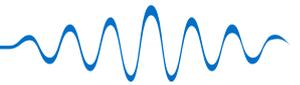
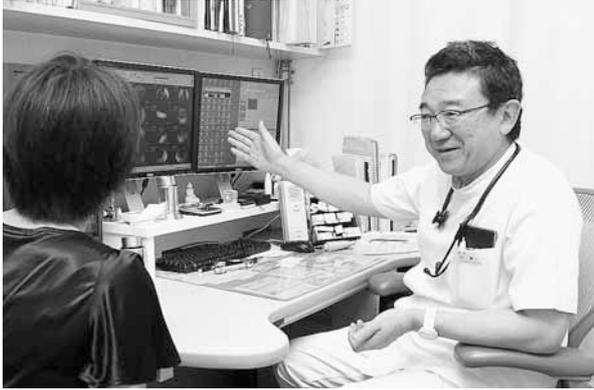


かかりつけ医の役割とは



患者さんとの信頼関係を築き、話をよく聞いて治療につなげる

患者の家族関係や生活環境を把握した上で治療を行う医師「かかりつけ医」は、気軽な健康相談の相手として、地域で安心して暮らし続けるために欠かせない存在です。そうしたかかりつけ医を持つことの必要性を、地域で慕われる診療所の医師に伺いました。



地域にかかりつけ医を持つことの意義は？

患者さんの生活全般を把握した上で治療できるところです。家族ぐるみで受診されている方もいて、生活状況や親族の病歴など、たくさんの情報を基に診断し、最善の治療法を考えることができます。

大きな病院に通った方が安心という方もいるのでは？

治療に使う設備は、規模の大きな病院には及びませんが、一人一人の患者さんとじっくりと話をしながら診察できるので、信頼関係を築いていくことができます。

かかりつけ医ならではのエピソードを教えてください。

大きな病院に通っても病状がなかなか改善しない、という高齢の方を診察しました。往診して家族にも詳しく話を聞いたところ、偏った食生活を



今 真人さん
北区にある今医院の院長。患者の治療を行う傍ら、札幌市医師会の副会長として地域の福祉機関と連携して治療する体制づくりに取り組む。

をしており、服薬も正しくなされていないことが判明。介護ヘルパーなどにも働き掛け、生活習慣を見直すことで病状が改善したことがありました。

かかりつけ医を決めるときポイントとは？

近くて通いやすいことが第一。また、専門の治療が必要となときに適切な病院を紹介してくれるところがいいですね。

今後、かかりつけ医が果たすべき役割とは？

高齢化が進むにつれて、患者さんの家で治療を行う「在宅医療」の重要性が高まります。そうした中で、かかりつけ医を中心に、訪問看護や介護機関などと共に患者さんを支える仕組みをつくるのが大切ですね。地域に頼られる存在であるために、責任を持って患者さんと向き合っていきたいです。

私たちの健康を支える最も身近な医師「かかりつけ医」

かかりつけ医を決めている方は、市民の約半数。中でも20代～30代は3割以下と、若い世代ほど少なくなっています。健康を維持するためには、わずかな体の異変に気付いてもらえ、早期治療につなげられるかかりつけ医を早いうちから持つことが大切です。

■かかりつけ医を決めている方の割合

